

総務省地域情報化アドバイザー優良事業事例

優良事業事例団体

団体名：姫路市

- 人口 : 531, 218(平成31年1月1日)
- 面積 : 534.35平方キロメートル
- 主な産業 : 製造業、皮革・酒・鎖などの地場産業、姫路城等の観光産業
- 地域情報化アドバイザー名 : 高橋 邦夫 氏
- 派遣対応年度 : 平成29年度
- 派遣回数 : 1回
- 支援形態 : 講演
- 支援分野 : 働き方改革、テレワーク

優良事業概要

■事業名：姫路市役所働き方改革推進事業

■事業の概要：将来的に、姫路市職員が時間や場所を問わず、情報端末を用いて市役所のネットワークに接続して職務を遂行できるテレワークの導入など働き方の改革を行う。この実現に向け、働き方改革に関する職員の意識づけや課題の整理等の研究を実施し、平成30年度には試験的にテレワークを実施する。このため、先進都市への視察等を通じて、文書管理のあり方や既存システムとの調整等について整理していく。

■依頼内容：テレワーク実現等、働き方改革に向けて整理すべき課題の全容と、どのような順序で事業を進めていくことが適当かご教示いただきたい。また働き方改革に関する職員の意識づけや試験的導入に向けた技術的なアドバイスなどのご支援をいただきたい。

地域情報化アドバイザーから受けた支援内容

■支援を受けた内容：豊島区におけるワークスタイル変革の取組みについて姫路市職員約200名に対してご講演をいただき、テレワークの実現に向けて、職員間の情報通信や文書管理の面で改善すべき事項を確認することができた。講演後は、働き方改革推進チームとの相談会を開催し、人事面での課題についても今後の検討に向けた方向性について確認できた。



講演会の様子

ワークスタイル変革に関する情報化推進講演会

日時：平成29年9月4日(月)

13時30分～14時45分

対象：主幹級以上の職員、情報化リーダー、
その他希望する職員

演題：「豊島区におけるワークスタイル変革の
取り組み」

講師：高橋邦夫氏

豊島区税務課長(当時)

支援を受けた事業の最新状況

■講演を聴講した参加者から、ICTを活用した働き方改革について自身の職場でも取組みたい等の意見が寄せられるなど反響があったことから、出来るところからテレワーク導入等の働き方改革に取り組みました。

まず、当時調達準備に入っていたLGWAN系端末(ノート型)の更新調達仕様を変更し、一部をモバイル型端末に変更し約200台導入。テレワークの推進にとっても重要な観点であるペーパーレス化を中心に試行的、率先的取組みとして、市長公室、総務局の職員端末をモバイル型端末に置き換えるとともに、特に幹部級職員からの取組みが重要と考え、市長、副市長、理事者の端末も同様に置き換えました。モバイル端末配置の部署から、可能な限りペーパーレス会議の取組みを始め、現在は総務局を中心に多くの会議で実践しています。また、平成30年7月からは、定例局長会議(市長、副市長、各局の局長等出席の幹部会議)もペーパーレス会議に移行しました。

また、平成30年度からは庁内ネットワーク接続する閉域網モバイル回線を導入し、テレワーク(在宅勤務、モバイルワーク)を試行導入したほか、認証プリント機能の実証を開始しました。来年度からは、テレワークの対象者を拡大するほか、オフィス改革の取組みと連携し、認証プリント機能のモデルフロアへの拡充を予定しています。

さらに、今年度から来年度当初にかけて、新しい文書管理・財務会計システムが機能ごとに順次稼働開始するのを契機とし、電子決裁とペーパーレスの推進が取組テーマとなっています。

講演をきっかけに、働き方改革の取組みが、ICT活用を推進する情報政策室だけの取組みではなく、企画、人事、行財政改革、文書管理及び庁舎管理部門等が連携した取組みとなっており、本市の職員のワーク・ライフ・バランスの推進や職務の生産性向上、市民サービスの充実に向けて、推進してまいります。

地域情報化アドバイザー制度を知るきっかけ

■平成29年度当初に総務省(近畿総合通信局)から、本制度の平成29年度実施に関する案内をいただき、制度概要スライドを見て、活用しやすい制度であることを認識していました。

本市におけるテレワーク導入など、働き方改革の具体的検討を始めるにあたり、考え方や手順、導入した場合の効果等を、短期間で整理する必要が生じ、本派遣制度の活用を企画しました。

実際の派遣申請に向けては、本制度の窓口である一般財団法人全国地域情報化推進協会(略称APPLIC)のホームページに、詳細な手続きに関する資料やアドバイザーの一覧、過去の活用事例が分かりやすく掲載されており、スムーズに手続きできました。

地域情報化アドバイザー制度に関する評価・感想

■アドバイザーとして、当時東京都豊島区職員であった高橋邦夫氏を派遣いただき、豊島区における新庁舎移行期に取り組んだワークスタイル変革全般について講演いただきました。

内容が実際に取り組んだ事例であったため、非常に分かりやすく、参加者からも好評でした。

受講者アンケート(主幹級以上56%、情報化リーダー36%、その他希望出席8%)では、講演内容の理解について「よく理解できた」「まあまあ理解できた」が90%、内容が業務に役立つかについては「とても役立つ」「役立つ」が80%、ICTを活用したワークスタイル変革については「積極的に推進」「推進するべき」が90%の回答があり、受講者の働き方改革に対する理解や意識の向上に対して、非常に効果的な講演会となりました。

同じ自治体職員による、経験と実績を踏まえた講演であるという点が、受講者にとっても共感できるところが多かった点も非常に良いと感じました。今後とも、本派遣制度を積極的に活用してきたと考えています。